

徳山大学 周南公立大学 徳周会誌

発行所 徳周会

〒745-8566 山口県周南市学園台 周南公立大学内 TEL&FAX 0834-28-7454

●発行日: 令和7年3月20日 ●発行責任者: 國廣 憲 ●編集責任者: 藤井 辰郎



周南公立大学
SHUNAN UNIVERSITY

The Beginning

周南公立大学は
新学部学科を
開設しました



1期生スタート

今年度開設した経済経営学部、人間健康科学部(スポーツ健康科学科、看護学科、福祉学科)、情報科学部の1期生が新たなスタートを切りました。

山口直人さんご逝去について

山口直人さん(愛媛県出身徳山大学2018年44期卒29歳)が、令和7年2月7日深夜山口県警自動車警ら隊巡査長として交通事故の現場対応をしていたところ、後続車の事故に巻き込まれ死亡されました。

山口さんは大学在学中レスリング部に所属し、4年時には全日本大学選手権で準優勝を果たし、卒業時には大学より「功労賞」を受賞されました。「自分のパワーを生かして地域に貢献したい」と、卒業後は山口県警に奉職され多忙な職務の傍ら母校で練習に打ち込み、2022年から全日本社会人レスリング選手権で3連覇を果たすなどの活躍をされました。

また、後輩の育成にも熱心に指導を行うなど卒業生として今後の活躍を大いに期待していました。

ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

中村道陽さんご逝去について

中村道陽さん(徳山大学11期・経済学部卒)が令和6年12月17日享年62にてご逝去されました。

中村さんは昭和60年本学卒業と同時に徳山大学へ奉職され、大学を設立し初代理事長となられた高村坂彦理事長の秘書を始めとして様々な部署で中心的な役割を果たされました。校友会でも事務局、評議員としてご活躍をされ大学では評議員、総務部長という重責を担われていました。ヨット部の顧問や城ヶ丘寮の寮監を務めるなど、学生に対しても優しく丁寧に対応され大変人望の厚い方でした。

また、校友会においては校友会誌の第10号から第48号までの制作に携われ、会員の皆様に大学の近況を届けられていました。

ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

山口県名産品が当たる! プレゼントコーナー



- ①東洋美人舌番纏 純米大吟醸720ml **2名様**
今や山口県を代表するお酒のひとつです。
- ②山縣酒造超特撰大吟醸毛利公 **2名様**
地元周南市徳山の日本酒です。
- ③杉本利兵衛本店白銀・金竹6本セット **3名様**
旨みの詰まった上品な蒲鉾です。
～是非板わさでお召し上がりください～

応募方法

希望商品、氏名、年齢、住所、電話番号、会誌へのご意見・ご感想をお書き添えのうえ、下記のいずれかの方法でご応募ください。

郵送の場合

Eメールの場合

〒745-8566 山口県周南市学園台843-4-2
徳山大学・周南公立大学徳周会 まで
kouyukai@shunan-u.ac.jpまでご送付ください

※ご意見・ご感想は誌上・HP上で掲載されることがありますので、予めご了承ください。また、個人情報については、事務連携のみに使用させていただきます。

住所変更について

徳周会事務局では卒業生の名簿整理(住所、連絡先、勤務先の修正)を行っております。卒業生相互の関係を深めることを目的としておりますので、名簿のアップデートにご協力をよろしくお願い致します。
※変更は、徳周会ホームページの [徳周会名簿登録はこちら](#) をクリックしてください。

名簿登録はコチラ



編集後記

会誌をより情報量の多い充実した内容にし、皆様のお手元にお届けするため、企画・デザイン・印刷を株式会社Kirara Marketingに委託し大幅に刷新をいたしました。本号の発行にご協力いただいた皆様には、スタッフ一同より御礼申し上げます。

編集スタッフ

- 企画広報部長/藤井辰郎(25期)
三嶋隆史事務局長
- 事務局/元山 晃、藤田美恵
- 企画・デザイン・印刷/
(株)Kirara Marketing
- 協力/周南公立大学



令和6年度評議員会開催される



令和6年7月8日(土)、ホテルサンルート徳山において、評議員会を開催いたしました。

井上幹事長より開会宣言の後、新しく開学した新学部(看護学科)、新校舎の紹介があり、続いて國廣会長より、「大学は本年度より3学部5学科となり、新入生は510人に増え、近い将来には2,000人規模のマンモス大学になるだろう」と挨拶がありました。

引き続き議事がおこなわれ令和5年度事業報告、決算案、令和6年度活動方針、事業計画、予算案が審議され、全会一致で承認されました。

評議員会後の懇親会では、来賓として高田理事長・学長、金丸副理事長並びに副学長3名をお迎えし、近況報告や思い出話など懇親を深める中、無事盛会裏に終了することができました。(懇親会総勢50名の皆様の出席がありました)

大学祭(ポプラ祭)にてホームカミングデイを後援会と共同開催

令和6年11月3日(日)新校舎(S1校舎)が完成して初めての大学祭で、今年も卒業生を大学に招いて歓待するイベントとしてホームカミングデイを開催いたしました。

今回は、後援会との共催で開催し、学長より挨拶、現況説明を頂いた後、卒業生(50期卒)の松山航大君がご父兄の皆様に大学時代の過ごし方や就職活動の体験談をスピーチ。引き続き、平野真理子さん(卓球の平野美宇選手の母)に『夢を育て自立を促す子育て』について講演を頂きました。共催イベント終了後、卒業生の皆様には、新校舎にできた「学生カフェ」にて好きな飲み物を注文していただき、大変有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

卒業生の皆様には是非ともホームカミングデイにお越しいただき、卒業生同士の旧交を温める場にいただければ幸いです。来年も大学祭に合わせて開催をする予定です、日程はホームページにてご確認ください。



令和6年度 周南公立大学入学式

4月4日(木)、510名の新入生を迎え、令和6年度周南公立大学入学式を周南市文化会館で挙行了しました。式典では、新入生代表として白砂創大さん(スポーツ健康科学科)が宣誓を行い周南公立大学学長からは、「これから始まる大学生活が、『志』を立て、夢に向けたスタートを切るための、新入生にとって貴重で充実した時間になるように」と式辞が贈られました。

新校歌完成・お披露目

式典終了後は、初披露となる周南公立大学歌の合唱と島谷ひとみさん、HIPPIYさん、STU48がミニライブで会場を盛り上げ、新入生の門出を祝いました。



充実した 学習環境の創出

8号館トレーニングジム

8号館1階に最新の測定機器やトップアスリートが使用するトレーニング機器を導入しました。この施設はアスレティックトレーナーを目指している学生の実習や、アスリートサポートセンターの活動などに使用します。

S1号館実習室

主に看護学科が使用する最新のバーチャル3D解剖台や人体型シミュレーターなどを備えた実習室と全面窓の明るい講義室を3・4階にまとめ効率的に教育・研究を実施できる環境を整備しています。



新校舎S1号館が誕生しました！ WELL-BEING SQUARE

「出会い」と「賑わい」をもたらす新校舎S1号館が誕生しました。「交流」「学修」「情報」の趣の異なる3つのコミュニケーションコンモンズを中心に、様々な人々の交流が生まれる新校舎。地域に開かれた新たな知の拠点となります。

1階はカフェもそなえた 多目的な交流スペース

誰でもご利用いただける、学生・地域住民のくつろぎの場です。学生が勉強したり、地域の方々が談笑したり、イベントをするなど、様々な人たちが自由に楽しみながら、多様な交流を生み出します。

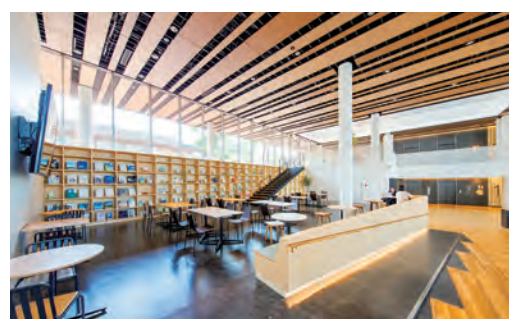


吹き抜けを活かした コミュニケーションコンモンズ

明るく開放感があり、デザイン性の高い空間でゆとりを感じながらゆとりある時間を送ることが出来ます。校舎全体に、高窓から優しい光が差し込みます。

中2階ブラウジングコーナー (自習スペース)

広々としたスペースで、自分のペースで学習できます。ウェルビーイングに関する本も豊富に取り揃えており、心身の健康や幸福に関する知識を深めることができます。



卒業生から 周南公立大学へのメッセージ

大学を拠点として若者の流出を防ぎ、
全国から優秀な人材を集め、
周南市地域の活性化を。

寄り添い歩ける人材づくりへ
Well-being、福祉マインドの
考えを深める経験を大切に

事業承継で経営者となった
今、大学時代の学びを実感

現在、山口市徳地にて地元の
きれいな水を活かした手作りこ
んにやくと佐波川とうふを製造
しています。もともとは父が始



中川商店
代表
中川 直樹氏
(なかがわ・なおき)
1983年に徳山大学を卒業し、富
山県にて精密機器の業務に従事。
2022年、父の他界に伴い帰郷し
中川商店代表として事業を引き継
ぐ。また同年、後継者不在で廃業
を危惧されていた佐波川とうふの
製造事業も引き継ぐなど、地域食
文化の継承に注力。

めた事業で、2年前に父と事業
を継いだ弟が続けて他界し撤退
も考えました。しかし、父の想い
や周りの支援に後押しされ、仕
事を早期退職し事業を継ぐこ
とにしました。
徳山大学では、経済学をしつ

かりと学びました。その学びは
経営に携わることとなった今で
も生きています。その他にも、学
生会執行部に入り学内外の活
動に携わりました。その志を共
にした仲間とは卒業して40年
経ちますが、今でも想いは共に
しており、この度、OB間で周南
地区の特産品を製品化するコラ
ボ企画を進めているところで
す。山口県で初めての製品を考
えています。歳を重ねても様々
な新しいことに挑戦している背
中をぜひ、後輩の皆さんに見せ
たいと意気込んでいます。

周南公立大学へ期待すること
は、街の活性化です。若者がいな
くなってしまおうと街の衰退につ
ながります。そういった中で大
学を拠点として地元の若い人た
ちの流出を防ぎ、全国からも優
秀な学生が集まってくることは
周南地区の発展に多大な貢献
になると期待しています。
周南公立大学の学生の皆さ
んには、地元での活躍はもちろ
んですが、どんどん世界へと羽
ばたいていつてほしいと願ってい
ます。失敗を恐れずに色々なこ
とに挑戦してもらいたいです。

福祉情報学部1期生
視野を広げる学びに共感

社会福祉法人光仁会は20
14年に地域密着型特養を中
心とする介護保険事業を開始
し、創立10周年を迎えまし



社会福祉法人光仁会
法人本部長(理事)
松本 咲子氏
(まつもと さきこ) 2007年卒業

保育士の社会人経験を経て
2003年に徳山大学福祉情報学
部に入学。卒業後は社会福祉法
人光仁会の設立と事業開始に携
わり、現在も「地域密着型特別養
護老人ホームくすのき苑」「サテ
ライト型特養ひいらぎ」の施設長と
法人本部長を兼務する。

た。20年からは障がい福祉
サービス事業を展開し、地域の
多様な福祉ニーズに応えられる
チームとしてさらに成長するべ
く、取り組みを進めています。
私は保育士として障害児療
育に携わった後に、社会福祉士

の資格取得を目指し福祉情報
学部1期生として入学しまし
た。現場での経験を思い浮かべ
ながら受ける授業は新鮮で、貴
重な4年間でした。恩師から
「様々な福祉課題に関心を持ち
視野を広げるように」「思考は
論理的に、提案は想像を創造に
つなげる視点を大切に」と学ん
だことは現在の職務を担う基
盤となっています。
当法人には卒業生が複数名
在籍し、チームの柱として活躍
しながら、後輩実習生の指導や
中学生対象の職場体験のコー

ディネートに従事するなど、地
域福祉を担う若い力として頼
もしく感じています。
学生の皆さんには学びの中
でウェルビーイングや福祉マイ
ンドの考えを深める体験を大切
にしてほしいです。
また、大学には、地域で活躍す
る福祉従事者とのつながりを
生かし、福祉を必要とする人の
そばで寄り添いともに歩く大
切さを、未来の従事者、様々な
分野で活躍する若者に伝え、地
域に広げる拠点となるよう期
待しています。

2024 TOPICS トピックス

体育祭を開催しました

5月11日(土)、1年生約
100名が参加し体育祭が開
催されました。この体育祭は新
入生を対象とした交流イベン
トとして昨年度より行われて
います。有志の学生により企
画・運営され学部・学科を超え
たチーム編成で大玉ころがし、
リレー、障害物競走と様々な種
目がおこなわれました。
学生たちは即席チームでも一
丸となって競い合い、交流を深
める一日となりました。



看護学科開設記念
講演会を開催



令和6年4月より山口県東
部で初めての看護師・保健師の
養成大学として周南公立大学
人間健康科学部看護学科が開
設されました。

開設を記念して5月25日
(土)、日本看護科学学会理事
長で東北大学名誉教授の吉沢
豊予子氏をお招きし「これから
の看護」をテーマに講演会が開
催されました。当日は看護関
係者や学生ら約150名が参
加しました。吉沢教授から、新
型コロナウイルス感染拡大時に
看護関係者が果たした役割や
地元の実情に応じた地元創成
看護学の推進などについてお話
しされこれからの看護について
最新の研究や人の役に立つ看
護学の理念について学ぶ機会に
なりました。

大学祭を開催

11月3日(日)、大学祭「ポ
ラ祭」を開催しました。
今年のポプラ祭のテーマは
「煌瞬(こうしゅん)」で、周南公
立大学になって3年目、新学部
学科開設初年度を迎え、学生
が放つ閃光で、地域を照らし輝
かせることを目指しました。

学生が主体の大学祭実行委
員会が中心となり、幅広い年齢
層の方が楽しめるファミリー企
画や学生の日頃の活動報告な
ど、地域の方に大学を知って
いただき楽しむための企画を多
数開催しました。



松下村塾プロジェクト



11月22日(金)、松下村塾模
築にて学生が中心となり、第1
回松下村塾プロジェクトを開校
しました。松下村塾プロジェク
トとは、松下村塾のある大学で
学ぶ学生が高田隆学長を塾長
として夢を語り、志を立て、人
として成長していくことを目
標として開催するプロジェクト
で毎週金曜日の昼休みに開校
しています。

松下村塾模築は徳山大学開
学20周年、吉田松陰生誕16
0周年を記念して建てられ現
在もイベントなどに活用されて
います。

野村謙二郎先生特別講演

2025年1月20日(月)、元
プロ野球選手の野村謙二郎先
生を迎えた特別講義「アスリー
トサポート体制の最前線」を開
催しました。

講義では、怪我予防や体づく
り、メンタルサポートの進化につ
いて本学、尾形聡先生と小笠博
義先生とのトークセッションを
通じて学びました。学生たち
は、アスリートを取り巻く環境
の変化を理解し、今後の学びに
活かす貴重な機会となりました。



周南公立大学 基金 愛称:周南みらい基金

周南公立大学への寄附にご協力いただき
深く感謝申し上げます。

基金の使途と目的

今般「学生の成長のために。地域の発展のために。」を旨とし、学生の修学を積極的に支援するとともに、山口県東部における「知の拠点」として、地域で活躍する人材の育成や地域の方々の学び直しの場の提供などを通じ、地域を活性化することを目的に創設いたしました。

学生が地域から支えられていることを実感する中、充実したキャンパスライフを過ごすことができるよう、そして大学を生かした持続的なまちづくりを実現するために、様々な基金事業を実施してまいります。

本学が地域貢献大学として、多くのご賛同のもと、その役割を十分に果たし、地域の活力をより高め続けるために、基金へのご寄附につきまして、特段のご協力、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。



基金の使途と目的

1. 学生の修学支援事業（奨学金制度の充実や経済的な支援など）
▶ **地域で活躍する人材の育成**
2. 教育・研究活動支援事業（リカレント・リスキング教育の推進や研究環境の整備など）
▶ **地域の方々の学び直しの場の提供**
3. 地域連携・地域貢献活動支援事業（インターンシップやボランティアへの支援など）
▶ **地域活動への学生教職員の参加**
4. 国際交流活動支援事業（海外からの留学生の受入促進や交流イベント開催の支援など）
▶ **グローバル人材の育成や優秀な外国人材の確保**
5. その他、大学全体への支援事業（大学広報や施設設備の整備など）
▶ **地域の知的インフラの整備**

**周南公立大学基金は
「地域の活性化」
に役立てます**

New

特定基金 ▶ 特定の学生活動や団体、事業等を指定したご寄附

お申し込み方法

- ① クレジットカード・コンビニエンスストアでのご寄附については、本学Webサイトからお申し込みください。
- ② 金融機関の窓口でのお払込みの場合は、払込取扱票を郵送いたしますので、経営企画課までご連絡ください。
なお、山口銀行と西京銀行からのお振り込みは手数料が無料となります(本学負担)。
その他の金融機関からお払込みいただく場合は、手数料を別途ご負担いただきますようお願いいたします。

ご寄附の単位

- 法人…1口 10,000円(よろしければ10口以上でお願いいたします。)
- 個人…1口 1,000円(よろしければ3口以上でお願いいたします。)

※本学へのご寄附につきましては、税制上の優遇措置を受けることができます。

【ご寄附受付】



● お問い合わせ先／周南公立大学経営企画課 TEL 0834-28-6880(直通)

E-mail keieikikaku@shunan-u.ac.jp

クラブ活動

Keep it up!

FISU世界大学スポーツクライミング選手権 2位

スポーツクライミング部



人間健康科学部
スポーツ健康科学科1年
山口県立西京高等学校出身

石津 元崇 さん
いしづ・もとたか

9月11日、12日にかけて、スロベニアで開催されたFISU世界大学スポーツクライミング選手権リードの部において、石津元崇さんが2位を獲得しました。石津さんの、日々のトレーニングの成果が発揮されました。大会は世界中の大学生クライマーが集まり、技術と精神力を競い合う場となりました。石津さんは予選から安定したパフォーマンスを見せ、観客を魅了しました。また10月5日、6日に韓国で開催された「IFSCワールドカップ」にも日本代表としてリードの部に出場し、18位となりました。今後のさらなる活躍が期待されます!



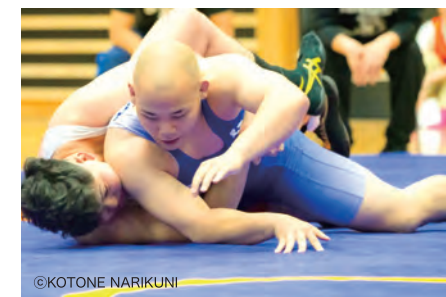
U20アジア選手権日本代表選出

レスリング部



経済学部
現代経済学科2年
兵庫県立神戸高塚高等学校出身

春風 飛翼 さん
はるかぜ・つばさ



情報科学部
情報科学科1年
静岡県立焼津水産高等学校出身

佐野 龍虎 さん
さの・りゅうご

春風飛翼さんと佐野龍虎さんの2名が4月に開催されたJOCジュニアオリンピックカップで上半身だけを使って戦う「グレコローマンスタイル」に出場。春風さんは130kg級、佐野さんは97kg級でそれぞれ準優勝という好成績を収め、7月17日～23日にタイ・シラチャで開催される「U20アジア選手権」に日本代表として出場しました。

2024年度 大会等結果

クラブ・サークル活動について詳しくはこちら ▶



2024年4月～6月

- 男子バスケットボール部 中国大学バスケットボール選手権春季大会 第3位
- レスリング部 西日本学生春季リーグ戦 優勝(※6連覇)
- 柔道部 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会山口県予選会/73Kg級 渡邊瑞希(経済学部2年) 優勝
100Kg級 衛藤優彦(経済学部3年) 優勝
- 陸上競技部 中国四国学生陸上競技対校選手権大会/男子110mハードル 4位 福井研登
- 女子バレーボール部 中国大学バレーボールリーグ春季大会 チャレンジリーグ 優勝

2024年7月～10月

- レスリング部 全日本大学グレコローマン選手権 87kg級 3位 権田 龍
西日本学生選手権 男子フリースタイル74kg級 優勝 西村 将希/92kg級 優勝 権田 龍
男子グレコローマンスタイル67kg級 優勝 北村 一気/77kg級 優勝 澤田 宗一郎/82kg級 優勝 谷川 光星
- 女子柔道部 全国国立大学柔道優勝大会 初出場
- 男子バレーボール部 中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会 CL 2位
- 女子バレーボール部 中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会 2部 2位
- 硬式野球部 令和6年度中国地区 大学野球秋季リーグ戦 準優勝

2024年11月～2025年2月

- スポーツクライミング部 第11回日本学生対校選手権大会 個人選手権 優勝 石津 元崇
- レスリング部 令和6年度西日本学生秋季リーグ戦 優勝 7連覇
最優秀選手賞:小石原 央義
- ボクシング部 第51回中国大学ボクシング選手権大会 ライトフライ級 優勝 千葉 十斗
フライ級 優勝 佐々木 瑛吾
- ディベート部 第22回渋沢杯ディベートリーグ フレッシュリーグ 最終結果:2勝0敗

